

平成30年4月19日(木) 15:40~
長野オリンピックスタジアム

第60回JABA長野大会
予選リーグ1回戦

VS トヨタ自動車

序盤3回は完璧に抑えられるが、1点を追う4回、2番・新城の3塁打、4番・大野の四球で2死1、3塁とチャンスを作ると、6番・道端がセンター前にタイムリーヒットを打ち同点に追いつく！さらに2死1、2塁から6番・泉澤がピッチャー前に内野安打を打ち、これが相手のエラーを誘ってもう1点追加、2-1と逆転に成功する！

同点にされた直後の5回、先頭の8番・尾嶋が死球で出塁し9番・吉田がバントで1死2塁と勝ち越しのチャンスを作ると、1番・宮川が右中間へのタイムリー3塁打！1点を勝ち越す！なおも2番・新城のレフトへの犠牲フライでもう1点追加、この回2点を勝ち越す！

なんとか追いつきたい打線は8回、5番・道端のヒットと6番・泉澤の四球で1死1、2塁のチャンスを作るが、7番・井村が三振に倒れ、さらに盗塁失敗もあってチャンスを潰してしまう。9回も2死2、3塁と1打同点の場面を作るが最後は木田が三振に倒れ試合終了、4-6で惜しくも敗れた。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	0	0	3	3	1	0	1	1	9
	得点	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
トヨタ自動車	安打	1	2	0	1	5	0	4	0	X	13
	得点	0	1	0	1	2	0	2	0	X	6

先発の三宮は初回、1死からヒットを打たれるが続く打者をダブルプレーに打ち取り無失点で立ち上がる。しかし2回、2本の2塁打を浴び1点を先制されてしまう。逆転した直後の4回は、先頭に四球を与えると送りバントとヒットでここもあっさりと同点を許してしまう。

5回から2番手・古田が登板、しかし代わった直後に本塁打を浴びるとさらに2本のヒットなどで1死1、3塁と同点のピンチを招いてしまう。ここで3番手・大久保が登板、同点タイムリーを許すがレフト井村の好返球もあって同点どまりで相手の攻撃をしのぐ。

走者を出すものの相手に得点を与えず踏ん張ってきた3番手・大久保が7回に捕まる。先頭打者にヒットを許し、送りバントで1死2塁とされると続く打者に3塁打を浴び1点を勝ち越される。その後2死1、3塁までこぎつけるが相手7番打者の打球が審判に当たる不運なタイムリーヒットを打たれこの回2点を勝ち越されてしまう。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	8	宮川	上野支社	5	5	2	1		1		1				0.400
2	5	新城	新宿支社	5	4	1			1		1	1			0.250
3	6	木田	所沢支社	5	5	1	1								0.200
4	3	大野	池袋支社	4	3	1	1						1		0.333
5	DH	道端	丸の内支社	4	4	2	2				1				0.500
	R→DH	手鏡	総合法人第三部	0	0	0									#DIV/0!
6	9	泉澤	武蔵野支社	4	3	1	1						1		0.333
7	7	井村	新宿支社	4	4	1	1								0.250
8	2	尾嶋	広域組織法人部	4	1	0						1	2		0.000
9	4	吉田	総合法人第五部	4	3	0						1			0.000
計				39	32	9	7	0	2	0	3	0	3	4	0.281

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	三宮	横浜支社		4	16	60	4	4	1	2	2	4.50
2番手	古田	立川支社		1/3	4	17	3	0	0	2	2	54.00
3番手	大久保	立川支社	×	2 2/3	16	64	6	2	3	2	2	6.75
4番手	玉熊	千代田支社		1	3	8	0	2	0	0	0	0.00
計				8	39	•	13	8	4	6	6	6.75